

砥山農業クラブ 砥山農業小学校通信

実りの秋真っ盛り とうきびおいしかったよ！

9 月 14 日（日）の授業

時限	カリキュラム	会場
1	リンゴのシール貼り	西本果樹園
2	ブルーンの収穫	砥山ふれあい果樹園
3	トウキビと枝豆収穫	八剣山果樹園

収穫の秋です。果樹園ではリンゴやブルーンが色付いて来ました。

1 時限目の授業はリンゴのシール貼りです。砥山ふれあい果樹園で桜井学
校長先生から「は
がした後、見栄え
のするように、絵
や文字は太目に書
きましょう」の注
意を受けたあと、
思い思いに絵や文
字をデザインしました。場所を西本果樹園に移して、5
月から摘果（小さな実を詰むこと）などをして育ててきた
リンゴの木にいよいよシール貼りです。リンゴはもう赤く
なっていますが、デザインがよく映る様、西本先生が
袋かけをしてくれていて、まだ青いものに貼り付けました。
貼った後は、陽がよく当たるよう、リンゴの周辺の葉を1、
2枚取って完了です。来月19日の農業小学校の最終日は
はがしますが、どのように出来上がるか楽しみです。



2 時限目は、砥山ふれあい果樹園に戻りブルーンの収穫
です。瀬戸修一前校長から「お店で売っているものは完熟
少し前のものを出しますが、ここで取れるものは完熟その
もの。手で触って少
し柔らかくなってい
るものが食べ頃」と
のお話を聞き、収穫
開始。ブルーンには
いくつかの種類があ
りますが、今はシュ
ーブルーンというのが最盛期。口に含むとジワーと甘さ
が広がります。充分食べて大満足です。



3 時限目は、待望のトウキビと枝豆の収穫です。5 月に
植えたものが、背丈を越すほど大きくなっています。一株

に2個なっていますが「上の1番果（大きく、太ったもの）
を取りましょう」とスタッフの合図で一斉に収穫開始。実
の上の部分に触って、硬く
詰まったものをもぎ取りま
す。あっという間に、トウ
キビを運ぶ台車が山盛りに
なりました。次は枝豆の収
穫。枝豆は「大豆になる前



のまだ若いもの」ということも授業で習いましたね。畑の
周囲を取り囲むように並んで一斉に抜き取ります。根が
しっかりと地中に入り込んでなかなか抜けませんが、「よ
いしょー」と引き抜きました。サヤを取って運びやすいよ
うにします。箱ふたつにいっぱいになりました。

お昼は取れたばかりのトウキビと枝豆をスタッフが手際よく、茹でてくれたものを頂きました。まずはトウキビから。
がぶりとかじりつくと、思わず「甘い」。皆んなの顔が
ほころぶ瞬間です。苦労して取ったかいがありましたねー。

枝豆もゆでたて
は、ほのかな豆
の味がして「こ
れが枝豆なん
だ」とお父さん、
お母さんも満足
そう。西本先生
が自分のところ



で取れたモモをシロップ漬けにしてくれていて、これもお
いしく頂きました。帰りには収穫したトウキビと枝豆をた
くさん持って帰りました。

最後に桜井校長先生が取り付けを進めている「ソーラー
クッチャ」という太陽熱利用の調理器の説明を聞きました。
中央の部分に反射した光が集中するようになっていて水を
温めます。これで枝豆をゆでることができます。その傍ら
に太陽熱で温水を作る小屋も建設中で、もうしばらくで完
成です。こうした自然エネルギーを利用することも大切な
ことですね。今日も、いろんなことが学べた1日でした。

発行：砥山農業小学校（代表 桜井 学）

住所：〒061-2275 札幌市南区砥山 126 番地 八剣山果樹園内

電話・FAX：011-596-2280

e-mail: info-h@hakkenzan.jp http://www.hakkenzan.com/nosyo/

9月14日（日）のスナップ



リンゴシール作り



まず西本さんからリンゴとシールの説明



慎重にシールを貼りました



星に願い



取りました



自然に笑みがこぼれます



収穫したトウモロコシを集めます



初めての畑でトウキビ



皆で皮むき



さっそく試食



野外ではかぶりつきになります



皆で分けて持ち帰ります



枝豆の収穫



根元から引き抜きます



茹でた試食用枝豆

